笑いで広がる新しい体験



１）講座日　2026 年 10 月 9 日（金）
２）テーマ　クリニクラウン～入院中のこどもたちにこども時間を～
３）講師　　熊谷恵利子氏
（認定ＮＰＯ法人 日本クリニクラウン協会事務局長）

冒頭から赤鼻をつけたクラウンのスタイルで熊谷先生が登場し、一瞬で受講生の心をつかみました。まずは受講生の自己紹介からスタート。「今日呼ばれたいニックネーム」や「今の気持ち」などを一人ずつ発表し、とてもなごやかな雰囲気で授業が始まりました。



次は、「寄り道」を楽しむワークショップです。Ａ点とＢ点を線でつなぐのですが、誰もが真っすぐ引こうとします。ですが先生から、「できるだけクネクネと長い線を引いて、『寄り道』を楽しもう」とお話があり、みんなで実際にできるだけ長い線を引いてみました。

ここからは「クリニクラウンについて」のお話です。
「クリニック（病院）」と「クラウン（道化師）」を合わせて「クリニクラウン」と呼ばれます。オランダ発祥で、日本では 2005 年に日本クリニクラウン協会が設立されました。オランダでは多くの病院にクリニクラウンがいますが、日本では全国で 42 名しかいないそうです。



クリニクラウンは、入院生活を送る子どもたちの病室を定期的に訪問し、遊びやユーモアを通じて「こども時間」をつくっています。設立当初は「子どもたちに笑顔を」を目的にしていましたが、その後「こども時間を」に変えたそうです。長く入院している子どもたちは、我慢しなければならないことが多く、親御さんや医療スタッフに気をつかってしまいがちです。だからこそ、子どもらしく過ごせる「こども時間」を届けたいという思いが語られました。

後半は、受講生が輪になってゲームをしました。「ノーズオン！」の掛け声で、みんなで赤い鼻をつけ、乾杯ゲーム、拍手回し、サバイバルゲームなどを体験しました。
楽しく体を動かしながら、コミュニケーションのコツも教えていただきました。
赤い鼻は世界最小の仮面であり、日常を超える自分になるためのアイテムだそうです。



最後は、「あなたが笑うと世界が変わる」という言葉で授業が終了しました。
笑いの中で、普段は知ることのなかった新しい世界を見ることができ、大変有意義な時間となりました。

（２班広報担当　K.T）